

菱谷さんを囲む埼玉の女性たち

国会請願行動



51回目の国会請願、埼玉から過去最高の20名が参加して大活躍、新しい紹介議員も増やすことができました



「不屈」No600 付録
埼玉版 (No428)

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
埼玉県本部

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂
2-3-10 黒澤ビル3B

電話・Fax 048-824-0094

✉ chian2022@gmail.com

郵便振替 00110-7-83245

51回目の「国会請願」が5月15日行われ、全国から昨年を上回る140人を超える参加者で、活気ある「請願行動」となりました。(詳細は本紙報道をご覧ください)

埼玉県からは過去最高の20名が参加し、その内8名の方が初参加でした。

また、沖縄県と茨城県へ4名を派遣し、全国的役割も果たしました。

埼玉県の皆様から寄せられた7千余筆の署名を持って、埼玉選出の9名の国会議員を訪問しました

全体集会のあと、4つの班に別れて、昨年紹介議員となっていた7名の議員(立憲5名、枝野幸男、小宮山泰子、森田俊和、坂本祐之輔、高木真理、共産2名、塩川鉄也、伊藤岳)と新たに紹介議員になつて頂けるよう働きかけようと立憲の大島敦議員、熊谷裕人議員を加え、合計9名の国会議員へ、皆さんから寄せられた約7千筆の署名を持って訪問しました。

ほとんどが秘書との対話になりました

全体集会で大野事務局長が発言

3時から、全体集会が再開され、「訪問結果の交流」が行われ、埼玉からは、関東ブロックを代表して、大野事務局長が、初参加の鷹巣さんと並んで発言。その中で、川越市の小宮山泰子議員の秘書から、小宮山重四郎元大臣が亡くなる前に、矢島恒夫議員(前埼玉県本部会長)との話を聴き、「この署名の大事さは、親から受け継いでいます」と快諾してくれた、との話も出て会場を沸かせました。

が、塩川鉄也衆議員と伊藤岳参議員には本人に会うことができ、記念撮影もして頂きました(写真掲載)。また、新たに紹介議員に働きかけた大島議員は、上尾の海老原市議の働きかけもあって快諾して頂けました。熊谷議員は、不在のため、引き続き、対応することになりました。

初参加者の感想から...

菱谷さんの一〇二歳とは思えないしっかりした口調で訴える「平和の大切さ」「たまたかうことの大切さ」が私の胸にズシンと響きました。私が参加した班は秘書の対応でしたが、昨年も承諾してくれた方々なので話はスムーズに進みました。三時からの「交流会」で各地の取組みや来年に向けての決意表明などが聞けて大変勉強になりました。私も今の時代が新しい戦前に向かって



署名を手渡す。塩川鉄也(右)と伊藤岳(左)両議員



(見沼区・荒井信次)

いて心配です。治安維持法が跋扈した暗黒時代に戻さない「国賠同盟」の運動が益々重要だと再認識した「請願行動」でした。

演劇

劇団民芸「オットー」とよばれる日本人を鑑賞、「新しい戦前」の今に思う

まだ小学生だった頃、家族に読んで聴かせてもらった尾崎秀実の「愛情はふる星のごとく」は、獄中から妻と娘におくった愛情溢れる書簡、子供心に感動し、戦争阻止のためにたたかった英雄として深く心に刻まれた。あれから七十数年・・・ソ連が崩壊し、冷戦構造が終焉したにも拘らず、東アジアでは、いまなお冷戦に伴う分断の強まり、軍事的緊張が続いている。また、ロシアで「ゾルゲ・ブーム」が起こり、プーチンがゾルゲを「愛国英雄」として讃えた直後にウクライナ侵略が始まったという。

こう云う時機に、戦中、国際社会を震撼させた「ゾルゲ事件」で、ゾルゲとともに活動した尾崎秀実の思想と

行動を素材として劇化した木下順二の代表作「オットー」と呼ばれる日本人」を24年ぶりに上演するというので興味深く鑑賞した。

戦前の日本において至難ともいえる戦争阻止の行為を貫こうとしたオットーの選択は、いまの私たちに何を問いかけているのだろうか。劇中で交わされる、ジョンソン(ゾルゲ)、オットー(尾崎秀実)、宋夫人(スメドレー)等の対話に耳を傾ける。作品は、社会主義に親近感を持つ人物が社会主義者のスパイ行為を擁護して書いた作品、という単純な話ではない。いま世界は、あの時代より危険で複雑になっていると思う。「いま、尾崎が生きていたら何をしよう」と考えたとき、舞台の最後で、オットーが叫ぶ「日、ソ、支、三民族国家の緊密友好なる提携による東亜諸民族の解放」の叫びが胸に響いた。(小池)

も言
私一

「弾圧犠牲者」救済運動の先駆者 金子丑平さんのこと

さいたま市見沼区

増子 典男

「不屈」編集部から話を受け、即座に引き受けたが、何を書いたのかと迷っていた。その迷いから抜けて「どうしても書きたい」と思ったのが金子丑平さんのことだ。

何人かの人を取材し、確かな裏付けをもらったが、事実問題としては、私が記憶する以上の話はでてこなかった。金子さんは、国民救済会埼玉県本部の事務局長として県内のあらゆる弾圧事件に携わってきた先輩である。

多分、埼玉の治維法同盟の発足にも深くかかわったはずだ。「早くやらないと治安維持法の犠牲者がどんどん少なくなっていく」と金子さんに熱く説かれたことを記憶している。金子さんのその熱意に須永さんたちが「わが

意をえたり」とこたえてくれたに相違ないと思っている。

日本共産党埼玉西部地区委員会の専従だった金子さんは、1952年に起きた弾圧事件・横川事件の犠牲者救済会の専従になった。この事件の判決は不当なものだったが、最後の犠牲者が出所したあと、金子さんは、国民救済会の活動に没頭していた。

いつもニコニコ笑顔だったが、弾圧事件となると血相をかえて救援、オルグや抗議に奔走していた。

わずかな記憶で書いてしまったが、これから金子さんの足跡をぜひ追ってみたいと強く思った。

(元日本共産党埼玉県委員長)

熱風

「そして誰もいなくなった」はアガサクリステイの作品の題名ですが、私は読んでいません。スジは、

十人の人々がある島に呼び寄せられ、そして一人ひとりが殺されていく、消されて行くのだそうです▼人(ヒト)にとつて最もおそろしい事は敵扱いされることでもなく無視されることだ、と何かで読んだ記憶があります。己の存在が無いものとされる、それを自分が自認する、そういう時間と空間の中にいる、それと「誰もいなくなった」は重なるのではないのでしょうか▼私達の見方、考え方はそういう状況を否定し、一人ひとりの存在が、生産や生活の営みが、社会の根底にあることを認識しています▼人としての存在を嘗て物理的に否定されてた者の人権を甦らせる私たちの運動は、今日の人と人の結びつきの衰退を止め、結びつきを強め広める運動でもあります▼同盟員拡大で全国を牽引している埼玉同盟の運動が、全国大会に向け更にそれを受けて、県内各地で地域の人々の結び付きを日々広げる支部活動を生みだすに違いありません。(天)

埼玉県の戦前における 「社会進歩のたたかいと抵抗の歴史」

連載
第10回

大震災と朝鮮人虐殺事件、 亀戸事件など その2

余名の自警団員に惨殺されるといふ悲劇が起きています。
亀戸事件など……直接、埼玉県

埼玉にもあった自警団による日本人虐殺……これまで朝鮮人虐殺を中心に記してきましたが、大震災の混乱に乗じて多くの日本人も殺されています。映画にもなった千葉県の福田村事件は、香川県からの葉の行商団が「言葉がおかしい」朝鮮人ではないか」など疑われ、自警団に暴行され9名が殺害された事件ですが、埼玉県でも、秋田県からきた21歳の製缶工、戸森友次郎が大里郡妻沼町派出所前で三十

派出所の前で 青年を惨殺す

万歳を唱へたとて
埼玉自警団の暴行

妻沼事件を報道する同時の新聞記事

義者の大杉栄と伊藤野枝の夫妻は憲兵により虐殺され、巻き添えとなった六歳の甥の遺体は井戸に投げ込まれるという何とも悲惨な事件があります。これ等の事件は、反動勢力がその反人民的支配を維持するためには、どんな卑劣で残酷な手段に訴えるものかと云うことをはつきり示しています。

立憲主義を取り戻す 6・2「オール埼玉総行動」盛会

6月2日、北浦和公園で13回目となる「オール埼玉総行動」が六千五百人の参加で盛大に行われました。

挨拶に立った小出重義実行委員長は「岸田政権は憲法の縛りを無視して、アメリカの言いなりになって戦争する国への道をまっしぐら」と批判。自民の裏金問題にも触れ「金権政治を一掃するには選挙に勝つしかない。市民と立憲野党の共闘で選挙に勝つて政権交代をおこそう」と訴えました。今年も、連合埼玉、埼玉連の労働界が揃って挨拶。また、各政党の挨拶の後、清水雅彦日本大教授がゲストとして登壇しました。最後

に、青年・女性達が次々登場してのアピールには元気ももらいました。集会後は浦和駅までパレードを行いました。



短歌

若き日も思いださせし県同盟
今 銀色の道行くわれら

川口市 小室 仁彌

孫と旅 正造ゆかりの 足尾行く

銅毒の痕 未だ癒えず

春日部市 細谷 宣朗

日米の金利差政策円安呼ぶ

物価上昇解決急げ

宇都宮市 宮地 さか枝

俳句

真冬にも咲く花ありし枇杷や水仙

春日部市 浅子 薫衣

初夏に忍から訪ね俳句寺

行田市 大野 辰男

五月晴れ交わす笑顔は同志愛

さいたま市 小池 莊市

梅雨空に紅をさすのかねむの花

行田市 鈴木 みち

川柳

武器輸出儲け行先裏金に

さいたま市 小池 莊市

鍋を持ち並ぶガサの子胸痛む

春日部市 福家 駿吉

同盟文芸



“支部作り” 具体化始まる

埼玉同盟は、8月の県総会までに「支部の倍化」を掲げて取組んでいます。幾つかの地域では「支部づくり」に向け意欲的な取組、具体化が始まっています。

さいたま市「旧浦和支部」の

「支部発足総会」の日程決まる

さいたま市には現在、支部があるのは岩槻区のみですが、旧浦和地域と旧大宮地域に支部をつくることになり、旧浦和では、この間、4回に渡って準備会を開き、7月15日に支部発足総会の運びとなりました。会場は、黒澤ビル3回で午後13時30分から行いますので関係者は是非ご参加下さい。

また、上尾市でも、支部準備会を発足させ、支部作りの準備が進んでいます。

【告示】

第3回 県本部理事会の開催

日時…7月17日(水)13時半

場所…浦和・黒澤ビル3階コラボ

県総会に向けての議案討議を行います。関係者は、万障繰り合わせてご参加ください。

24年度「請願署名」最終結果

国賠署名の目標と到達結果 2024年度最終

支部名	個人目標	到達	団体目標	到達	遂行率
岩槻	700	262	15	9	37.9%
川越		5		2	
春日部	300	335			111.7%
ふじみ野	150	13			8.6%
行田羽生	300	346	10	17	117.1%
直属	8,550	5,882	225	148	68.7%
合計	10,000	6,843	250	176	68.5%

国会請願署名推進コーナー

【個人署名】

5月分(2216筆)

川又 朋子	茨城県那珂市	2筆
倉又 孝夫	国分寺市	4筆
武石 辰弥	朝霞市	4筆
岩田 治樹	上尾市	13筆
伊藤 新一	同右	3筆
佐藤 礼子	同右	4筆
榎本 恵美子	同右	5筆
岩田 真知	同右	5筆

【団体署名】

5月分(73団体)

田中秀之	和光市	8筆
山本 延子	吉川市	5筆
加納幸子	宮代町	25筆
林 登美男	狭山市	4筆
福田美子	北区	10筆
東山寿美子	南区	15筆
埼玉総合法律事務所		24筆
埼玉県労働組合連合会		63筆
埼玉県教職員組合		7筆
埼玉県高等学校教職員組合		37筆
自治体労働組合連合会埼玉		18筆
埼玉土建一般労働組合		119筆
新日本婦人の会県本部		27筆
国民救援会埼玉県本部		10筆
埼玉ALA		15筆
埼玉住宅生協		8筆
日本科学者会議埼玉支部		3筆
富士見市平和委員会		10筆
入間東部地域メーデー		41筆
日本共産党埼玉県委員会		25筆
中部地区委員会		10筆
東部地区委員会		70筆
西部地区委員会		10筆
西部東地区委員会		58筆
北部地区委員会		66筆
国賠同盟		9筆
岩槻支部		124筆
春日部支部		26筆
行田・羽生支部		26筆

全労連全国一般労働組合埼玉地方本部、埼玉県教職員組合、埼玉県高等学校教職員組合、同和光特別

一年間、「署名」へのご協力
ありがとうございます

今年度の埼玉県に於ける「請願署名」の最終結果は、一覧表の通り、個人署名6843筆、団体署名176筆、合計7019筆でした。

来年は、治安維持法が公布されて丁度百年の記念の年でもあり、決意新たに取組みます。またのご協力宜しくお願い申し上げます。

5月の「会員拡大」は5名でした

6月末迄「全国大会成功をめざす特別期間」です。全国に連帯して会員拡大に取組みましょう。